

第五章 出版活動

昭和四十一—四十五年間の出版界が非常な打撃を受けたのは、昭和四十二年に発した一連の学園紛争であった。このために大学生向けの教科書・参考書の売行きは非常に不振となり、一方では執筆の先生方が、紛争解決のために、原稿執筆の時間を失った。学術専門書を扱う出版社は、一樣に出版する原稿不足のため、その経営に苦しまねばならなかった。当社に於ても、その影響を免がれなかったが、従来に引き続き内容の充実した便覧、ハンドブック類を出版した。なかでも、従来一冊であった日本化学会編「化学便覧」を基礎編・応用編の二冊に分けたのを始めとして、定評を得ている既刊の便覧の改訂版五点と、日本金属学会・日本鉄鋼協会の連合編纂による「鉄鋼材料便覧」、河野豊弘・染谷恭次郎・諸井勝之助編「企業財務ハンドブック」、化学工学協会編「化学装置便覧」等新規企画十五点を出版している。

この五年間の出版では、昭和四十一年以前から継続して出版している「実験化学講座」、「耐震設計シリーズ」、「物性定数」、「防災指針」の他に、新刊としては化学工学協会編「プロセス機器構造設計シリーズ」(全五巻)をはじめ、吉武泰水編「建築計画学」(全十二巻)の刊行を始めた。やはり前述の学園紛争の影響のため理論的なものよりも、実用的な内容を主とするものが多かった。

また昭和四十五年、前年から計画していた「経営学全書」(全四十一冊)の刊行が開始され、三月に山城章著「経

菅原論、竹中龍雄・北久一共著「公企業・公益企業経営論」、田杉競・鈴木英寿・山本安次郎・大島国雄共著「比較経営学」、石田武雄著「経営システム論」の四冊を出版した。この「経営学全書」は現在も刊行中である。

この他に、昭和四十三年四月、重ねて天皇の御研究書「相模湾産ヒドロ珊瑚類および石珊瑚類」発行の御下命を賜り、陛下六十回御誕生にあたる四月二十九日に発行した。

その他に注目すべきことは、海外へ販路を求めて、英文の出版書を相次いで出版したことである。当社からは鷹司信輔著「The Birds of Nippon」日本痛学会編「GANN Monograph」(二号から) 山田弘三・勝沼信彦・和田博編「Symposium on Pyridoxal Enzymes」などを出版した。

教科書類では、昭和四十三年出版の三浦義彰監訳「ハーパー生化学」、昭和四十四年出版のW・F・ギャノン著・松田幸次郎・市岡正道・八木欽治訳「医科生理学展望」といった医学分野をはじめとする翻訳出版が増加した。